

ウクライナ

戦火から子を守れ 岐阜信金が募金贈る

大坪光樹副会長に目録を渡した
光崎修常務理事(右)＝各務原市
鵜沼各務原町、県ユニセフ協会



岐阜信用金庫は18日、今月10日に開催した「ぎふしんプレミアムコンサート」の会場で集めた募金11万7875円を、県ユニセフ協会を通じて国連児童基金(ユニセフ)の「ウクライナ緊急募金」に託した。協会によると、ロシアの侵攻により、ウクライナでは750万人の子どもの命と生活が脅かされているという。

各務原市鵜沼各務原町の生活協同組合コープぎふ内

の県ユニセフ協会で贈呈式が開かれた。同金庫の光崎修常務理事が「コンサート参加者からの善意をウクライナの子どもたちを守るために活用してもらいたい」と話し、同協会の大坪光樹副会長に目録を贈呈。大坪

副会長は「募金の輪が今後、県内で広がることを望む」と述べた。

今回の寄贈は、同金庫が1992年度から社会福祉のために実施している「ぎふしん愛の募金」の一環。(山本貴史)